

有限会社 nap

皮革製品の内製化と縫製技術力による高付加価値製品の開発

皮漉き機、1本針本縫総合ミシン、筒型1本針本縫ミシン、ハイポストヘッド1本針本縫総合ミシン、電子鳩目穴かがりミシンを導入



導入背景

単価の高い点が革製品のメリット

欧米では所有感のあるものが好まれ、ペンケースや手帳は革製品の人気が高い。モータースポーツの関連で革ジャケットのニーズもある。国内の革ジャケットの製造拠点は東日本に集中しており、西日本にはない。最大のメリットは革製品が布製品よりも高額なことだ。単価の高いものを少し作って販売する方が仕事にゆとりができて休みも増える。そこで革製品の内製化を図った。

実施内容

サンプル制作で縫製技術を習得

皮漉き機と4台のミシンを導入し、皮革縫製技術を習得する。レザーバッグやレザージャケットのサンプルの制作を通じて、ミシンの操作方法や縫製の技術習得に努める。そして出来上がった製品の加工精度や意匠再現性、安定した品質実現性を確認する。また、パーツ・素材ごとの皮革の漉き方、各種製品のボタン穴に適した縫製方法などのノウハウの蓄積を行う。

事業成果

キャンプ用品や家具の制作も実現

皮革製品の内製化により、外注のコスト削減と時間短縮が実現した。古い機械で無理して制作していたものが、新しい機械を使うと簡単にできるようになった。仕上がりも美しくなり、制作できるものの幅が広がった。厚みのあるものが縫製できることから、キャンプ用品や椅子などの家具の分野とも繋がりが生まれている。海外の企業からのコラボレーションの依頼もある。



企業から一言

単価の高い、ブランド価値を生むものづくりと、新たな挑戦を

当社のような工房が存続していくには、単価の高い製品を少量生産して販売することが重要です。そうすることでゆとりを持って仕事ができ、休みも取れるほか、ブランドの価値も高まります。既製品の制作を外注で受けながら、セミオーダーもできる職人付店舗といったスタイルで独立も可能になりま

す。アウトドアや家具などの企業から製品開発のオファーが来ています。今後は防災グッズの開発に取り組みたいです。地元の小学生を対象にレザークラフト体験を開催し、祭りにも参加。20年後の顧客を開拓しています。

ディレクター&デザイナー 河合 誠

■ 自然豊かな環境で、高品質な国産素材を使ったハンドメイド製品を提供

倉敷市児島の帆布やデニム、栃木レザーなどの「高品質国産素材」を使用した、オリジナルハンドメイドブランド「THE SUPERIOR LABOR」を展開する有限会社nap。同社は岡山市のレザークラフト工房と倉敷市の縫製工場を統合し、ものづくりに集中できる環境を求め、平成24年に吉備中央町に移転。小学校の廃校を購入し、建物をリノベーションして工場兼事務所、店舗を開設した。当時はリノベーションの黎明期で、メディアに数多く取り上げられた。その結果、会社とオリジナルブランドの知名度が上がり、販売促進に繋がった。同社ではこの地をnap villageと称し、自然豊かな山の中

で創意工夫を凝らし、新しいアイデアによるものづくりを行っている。同社の製品は、国内生産で職人によるハンドメイドにこだわり、手作り感、自然素材を重視している。一方で高品質・高耐久の素材を使用し、高度な技術力にデザイン性を加えた高付加価値なものづくりにも取り組んでいる。現在は日本全国に70社、アメリカ・ヨーロッパを中心に海外30社の取引先を有する。今回の事業では皮革製品の内製化を進めるとともに、その縫製技術を生かした高付加価値製品の開発に繋げる。



事業者の概要

代表者名	河合 誠
設立年月	平成17年6月
所在地	〒709-2411 岡山県加賀郡吉備中央町上田東2395-5
TEL/FAX	TEL.0867-34-1117 FAX.0867-34-1118
URL	http://nap-dog.com
資本金額	300万円
従業員数	8人
業種	革製品・布製品の製造・卸・小売り
事業計画名	皮革製品製造プロセスの見直しによる競争力強化事業